



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 オルガノ株式会社  
 コード番号 6368 URL <http://www.organo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 内田 裕行  
 (氏名) 秋元 英良

TEL 03-5635-5111

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	12,156	△1.8	△711	—	△594	—	△360	—
25年3月期第1四半期	12,384	3.7	△289	—	△230	—	△111	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △240百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△6.26	—
25年3月期第1四半期	△1.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	79,754		44,179		55.4	
25年3月期	85,309		45,207		52.5	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 44,179百万円 25年3月期 44,766百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	1.5	200	△80.2	100	△90.4	40	△93.7	0.69
通期	73,000	9.4	3,000	△14.2	2,800	△28.4	1,500	△41.5	26.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	57,949,627 株	25年3月期	57,949,627 株
26年3月期1Q	340,131 株	25年3月期	339,153 株
26年3月期1Q	57,609,787 株	25年3月期1Q	57,616,279 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策、円高の修正などを背景に、緩やかな景気回復に向かいつつも、欧州の債務危機長期化や中国の経済成長減速など世界景気の下振れ懸念などから全体としては先行き不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内では企業の生産活動は緩やかに持ち直しの兆しが見られるものの、設備投資の本格的な回復には至らず、主たる海外市場であるアジア地域においても、価格競争は一段と激しさを増しており、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、平成25年度より3ヵ年の中期経営計画をスタートさせ、産業全般、海外、純水・排水両輪での事業拡大という事業ポートフォリオの転換をさらに加速させ、機動的な開発・製造・営業体制の構築を目指すとともに、一層のコストダウン、工事力の強化により、収益の改善に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間は受注高15,791百万円（前年同期比20.3%増）、売上高12,156百万円（同1.8%減）、営業損失711百万円（前年同期は営業損失289百万円）、経常損失594百万円（前年同期は経常損失230百万円）、四半期純損失360百万円（前年同期は四半期純損失111百万円）となりました。

事業のセグメント別業績は次のとおりであります。

## [水処理エンジニアリング事業]

当事業におきましては、国内では受注はほぼ前連結累計期間並みに留まりましたが、産業全般で設備投資やメンテナンス、改造工事の延期などにより売上が減少しました。一方、海外では電子産業分野が旺盛な設備増強投資に支えられ、受注及び売上ともに増加しました。この結果、受注高11,022百万円（前年同期比30.9%増）、売上高7,921百万円（同1.9%減）、営業損失767百万円（前年同期は営業損失530百万円）となりました。

## [機能商品事業]

当事業におきましては、顧客工場の操業度に低下がみられる中で、受注及び売上はほぼ前連結累計期間並みとなる一方、採算性が低下した結果、受注高4,769百万円（前年同期比1.3%増）、売上高4,234百万円（同1.7%減）、営業利益55百万円（同77.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,555百万円減少し、79,754百万円になりました。これは主に受取手形及び売掛金6,614百万円及び仕掛品を中心としたたな卸資産2,163百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,527百万円減少し、35,574百万円となりました。これは主に借入金2,389百万円及び支払手形及び買掛金1,599百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,028百万円減少し、44,179百万円になりました。これは主に配当金の支払及び四半期純損失の計上に伴う利益剰余金706百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,809	10,331
受取手形及び売掛金	31,427	24,812
リース投資資産	7,902	9,290
商品及び製品	3,978	3,671
仕掛品	5,248	3,408
原材料及び貯蔵品	923	907
繰延税金資産	839	1,141
その他	1,653	1,673
貸倒引当金	△112	△103
流動資産合計	60,671	55,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,428	17,474
減価償却累計額	△10,199	△10,326
建物及び構築物(純額)	7,228	7,148
機械装置及び運搬具	4,937	4,982
減価償却累計額	△4,106	△4,135
機械装置及び運搬具(純額)	830	846
土地	12,494	12,496
建設仮勘定	84	19
その他	4,144	4,166
減価償却累計額	△3,444	△3,489
その他(純額)	699	677
有形固定資産合計	21,338	21,188
無形固定資産		
投資その他の資産	326	395
投資有価証券	1,207	1,272
繰延税金資産	1,456	1,456
その他	470	474
貸倒引当金	△161	△167
投資その他の資産合計	2,972	3,036
固定資産合計	24,637	24,620
資産合計	85,309	79,754

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,024	13,425
短期借入金	10,848	8,858
未払法人税等	646	124
前受金	1,513	2,052
繰延税金負債	7	9
賞与引当金	954	349
製品保証引当金	147	133
工事損失引当金	290	269
その他	2,558	2,587
流動負債合計	31,991	27,810
固定負債		
長期借入金	4,053	3,652
繰延税金負債	4	6
退職給付引当金	3,959	3,997
その他	92	106
固定負債合計	8,110	7,763
負債合計	40,101	35,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	29,397	28,691
自己株式	△325	△325
株主資本合計	44,805	44,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186	189
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△225	△110
その他の包括利益累計額合計	△39	80
少数株主持分	441	—
純資産合計	45,207	44,179
負債純資産合計	85,309	79,754



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	12,384	12,156
売上原価	9,333	9,461
売上総利益	3,050	2,694
販売費及び一般管理費	3,340	3,406
営業損失(△)	△289	△711
営業外収益		
受取利息	8	11
受取配当金	8	9
固定資産賃貸料	7	7
為替差益	72	123
その他	25	18
営業外収益合計	122	170
営業外費用		
支払利息	34	27
持分法による投資損失	22	20
その他	7	5
営業外費用合計	63	52
経常損失(△)	△230	△594
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産廃棄損	2	1
投資有価証券評価損	8	—
施設利用権評価損	6	—
その他	—	0
特別損失合計	18	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△248	△595
法人税等	△140	△234
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△108	△360
少数株主利益	3	—
四半期純損失(△)	△111	△360

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△108	△360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	3
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	138	114
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	118	119
四半期包括利益	10	△240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24	△240
少数株主に係る四半期包括利益	35	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	8,076	4,307	12,384	12,384
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	8,076	4,307	12,384	12,384
セグメント利益又は損失(△)	△530	241	△289	△289

(注) セグメント利益及びセグメント損失は、営業利益並びに営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失との間に差異はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	7,921	4,234	12,156	12,156
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	7,921	4,234	12,156	12,156
セグメント利益又は損失(△)	△767	55	△711	△711

(注) セグメント利益及びセグメント損失は、営業利益並びに営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失との間に差異はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であるオルガノ(アジア)SDN. BHD. 及びオルガノ(タイランド)CO., LTD. の株式を追加取得したことから「水処理エンジニアリング事業」において、のれんが発生しました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、73百万円であります。